JCHOだより
うぇーぶ
Wave
vol.81
2023.1
独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京高輪病院

医療連携・患者支援センター
〒108-8606 東京都港区高輪3丁目10番11号
TEL：03-3443-9576　FAX：03-3443-9570
https://takanawa.jcho.go.jp/

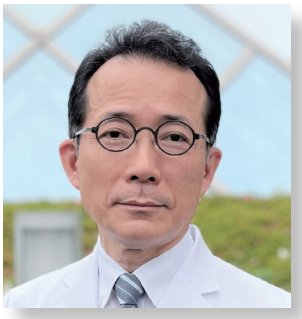
Contents

新年のご挨拶
教えてドクター！　循環器内科
診療科のご紹介　腎臓内科
脳神経外科
連携医療機関のご紹介

病院理念	心のこもった医療を安全に提供します。

新年のご挨拶

JCHO東京高輪病院　院長　山本（やまもと）　順司（じゅんじ）



明けましておめでとうございます。皆様には素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナ感染症も発生からまる 3 年が経過し、世界中で数多くの基礎研究、大規模症例研究がなされた結果、正体が極まってきているところではありますが、わが国政府の方針が欧米各国より厳格なため、社会生活上、医療政策上の制約はまだ継続中です。本稿執筆時点は第 8 波の最中で感染者数はまだピークに達していませんが、国会では感染症法上の分類見直し（2 類相当から 5 類への引き下げ）の本格的議論が始まっており、ようやくコロナ後の世界が現実として視野に入ってきています。

さて、図 1 は主要死因別死亡率の年次推移です。ご存知のように、第 2 次世界大戦直後は肺炎、結核による死亡率が高かったものが 1980 年以降は悪性腫瘍、心疾患、肺炎、老衰が増加してきていることが示されています。「二人に一人はがんになる」とされ、最初の図を示されるとがん保険にはいったほうが良い気分になります。しかし、この図から人口の高齢化の影響を除いたのが図 2 であり、こちらが真実を表しています。悪性新生物による死亡は 1990 年代半ば以降急激に減少してきており、その他ほとんどすべての死因（老衰を除く）による死亡が減っています。つまり、日本人はますます長生きするようになっているのです。超高齢化社会の到来は確実であり、就業人口の多い都市部でも高齢者に対する医療がますます重要になってきます。そのような時代に備えるため、当院は「救急指定病院（第二次救急）」（1997 年 8 月～）に加え、「地域包括ケア病棟」（2014 年 10 月～）、「医療連携・患者支援センター」（2015 年～）を備えることで、急性期医療から回復期のリハビリさらには介護まで切れ目のない医療を院内で提供できるシステムを作り、地域医療を支えるために職員一丸となって取り組んでおります。高度医療センターと病病連携を行い、近隣の医療機関と病診連携を密に行うことにより、患者さんがご自分の状態に合った医療を受けられるようにお手伝いをし、さらに院内に設置した「たかなわ訪問看護ステーション」は、患者さんが退院後も安心して療養生活が送れるようにかかりつけ医と連携を取りながら、患者さん・ご家族のご要望に沿った適切な医療・看護を提供いたします。

本年もご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

図 1　主要死因別死亡率年次推移（1947年～2020年）
Trends in Crude Mortality Rate for Leading Causes of Death (1947-2020)

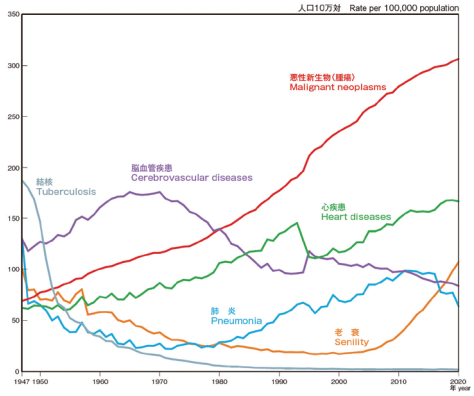
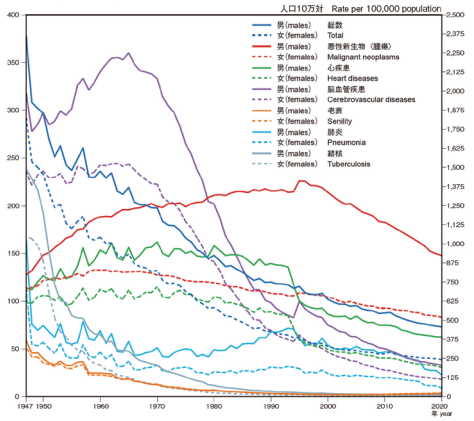


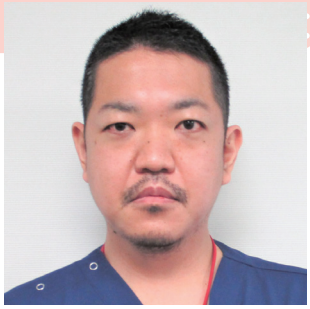
図 2　主要死因別年齢調整死亡率年次推移 1（1947年～2020年）
Trends in Age-adjusted Mortality Rate for Leading Causes of Death (1947-2020)



がんの臨床 2022 より

教えてドクター！

循環器内科



循環器領域におけるカテーテル治療

遠井（とおい）　悟（さとる）

意外と侮れない！末梢動脈疾患

2022年４月より赴任させていただいております循環器内科･遠井 悟と申します。私は、循環器領域の中でカテーテル治療を主に行っております。カテーテル治療の発展はめざましいものがあり、今や大動脈弁狭窄症に対しての TAVI（経カテーテル的大動脈弁留置術）や僧帽弁閉鎖不全症に対しての Mitraclip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）なども行えるようになってきました。

その中で、当院では冠動脈疾患のカテーテル治療（PCI）を主に行っておりますが、末梢動脈疾患に対してのカテーテル治療を増やしていきたいと考えております。

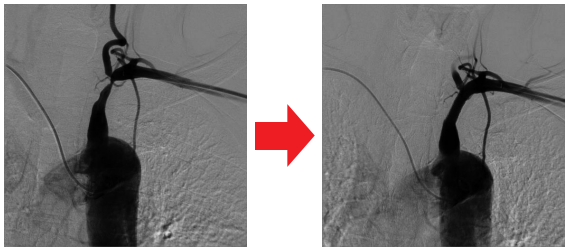
下にいくつかの症例を提示いたしますが、末梢動脈疾患も例えば①の左鎖骨下動脈狭窄症の方はシャンプーをするときに左腕がだるくて洗い続けることができず、血圧の左右差を認めているということで御紹介いただいた患者様でした。

②の左浅大腿動脈閉塞の方は、品川駅から当院まで徒歩で来られる際に柘榴坂を休み休みでないと上って来ることができないという間欠性跛行を訴え、当院で治療に至った患者様です。

そのほか、③のように腹部大動脈終末部の閉塞に対してのカテーテル治療なども今はカテーテル治療の成績が良くなっております。

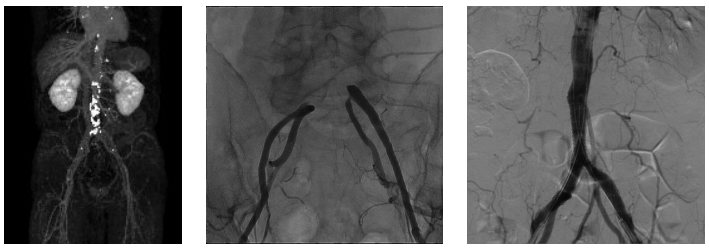
特殊ではありますが、④のように透析患者様に対してのシャントＰＴＡもできる限り低侵襲でかつ開存期間を少しでも長く延ばせるように携われればと考えております。

近隣の先生方と連携をとって、大病院に負けない心のこもった医療を行っていきたいと考えておりますので、なにか困った際には是非ご相談いただければ幸いです！



①左鎖骨下動脈狭窄

②左浅大腿動脈閉塞



③腹部大動脈終末部～左右総腸骨動脈の閉塞

④遠位橈骨動脈アプローチによるシャントPTA

診療科のご紹介

腎臓内科

医師　稲葉（いなば）　大朗（たろう）

健康寿命を延ばすためにできること

＜ご挨拶＞

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。令和４年度より東京高輪病院 腎臓内科に着任いたしました、稲葉　大朗（イナバ　タロウ）と申します。腎臓内科は比較的にマイナーな科ではあります。しかしながら、本邦の超高齢社会化や健診事業促進・各団体による啓蒙活動により何らかの腎不全を発見されるケースが増えていると実感しており、今後皆様が腎臓内科へ受診されることも多いかと考えます。腎不全は初期には自覚症状に乏しいケースも多く、また最終的に腎代替療法（透析・移植療法）の必要な状態にいたります。また腎疾患は様々な臓器への影響を及ぼすことから健康寿命への影響が考えられ、定期的なフォローを必要とします。腎機能障害への早期介入による機能改善や保持・それに伴う健康寿命の増進が腎臓内科の使命と考え日々診療にあたらせていただくよう努めてまいります。

また腎疾患には膠原病・高血圧・糖尿病など多岐にわたる疾患との交差があり、日々各部署と連携を取り診療にあたっております。

腎機能障害・尿検査異常を認めました場合は、まずは当科受診にてご相談いただければと考えております。

地域の皆様のご要望に応じた診療ができるよう日々努めてまいります。

＜診療内容＞

[対象疾患] 蛋白尿・血尿・腎炎・ネフローゼ・腎不全など

外来での腎不全精査・内服 / 注射による加療を中心におこなっております。腎不全原因精査として腎生検が必要なケースがありますので、適宜連携機関と協力して検査ご手配させていただいております。また腎機能状況により 1 週間程度の教育入院などもご提案させていただいております。腎不全進行に伴い腎代替療法必要な際には透析室看護師さんとともに専門外来（腎不全外来）を経由して療法選択をし、当院または連携機関での透析導入やその後のフォローを調整させていただいております。

脳神経外科

副院長　日山（ひやま）　博文（ひろふみ）

地域に根ざした脳外科診療

ベテランの脳外科医が診察します！

あけましておめでとうございます。

脳神経外科は３名のベテラン専門医が診察にあたっています。日勤帯でしたら常時診察可能です。また夕方の診察依頼も７時頃まで在院する医師が対応可能なことがありますので早めに連絡をお願いします。頭部外傷以外の脳外科の初診ではMR画像を行うことが多くなっています。当院の強みとしてあまり待たせることなく撮影が可能であり午前中の早い時間の紹介ですと昼頃までには撮影できます。このため患者さんには早めの受診を指示してください。今後のとり組みとしては笹原医師が認知症の専門医でもあるため認知症の前段階であるMCI,また治せる認知症である正常圧水頭症、の診察に力をいれます。火曜日午後が予約枠です。また丸山医師により脳腫瘍外来を開設しセカンドオピニオンや治療のあとの高次機能障害に関しての相談などを第２，４週の木曜日午前に行っています。ともに連携室を介してご紹介ください。本年もよろしくお願いいたします。

副院長　部長：日山博文

医長：笹原　篤

医員：米山　琢

非常勤医師：丸山隆志

5 よしもとブレストクリニック

院長 吉本（よしもと） 賢隆（まさたか）

東京高輪病院との病診連携のさらなる絆を期待しています

乳癌治療をライフワークにして40年になります。癌研病院、国際医療福祉大学三田病院を経て、11年前に赤坂に乳腺クリニックを開業しています。前任の小山外科部長（大学の外科医局の後輩になります）に請われて、10年前から毎週のように高輪病院で乳癌の手術を行っています。若い先生方を指導しながら、毎年100例ほどの乳癌手術を行っていますが、クリニックでの外来診療とは違った楽しさがあり、私の若返りの一助となっています。気持ちよく手術ができる手術室のスタッフの皆さんには大変感謝しています。また、乳癌の手術では術中の迅速病理診断が決定的に重要で、安全で質の高い手術に欠かすことができません。病理診断部のスタッフの皆さんの技量の高さと献身的なサポートは、これまで私が勤務したがん専門病院や大学病院に比べても際立って高レベルだと思います。また、高輪病院では、外科のスタッフ、病棟の看護師さん、画像診断・病理診断の技師さん達は皆さん素晴らしい方ばかりで、患者さんは入院生活にとても満足しておられます。クリニックでは再発乳癌の患者さんをたくさん診ており、また抗がん剤治療を数多く行っていますので、緊急入院を要することがたまにあります。そのような時、すぐに患者さんの入院を受け入れていただいていて高輪病院には大変感謝しています。これからも病診連携の絆を一層深めていけるように願っております。

東京都港区赤坂6丁目3－20 HATビル3階　TEL.03-3568-1155
http://yoshimoto-bc.com/

6 吉田整形外科

院長 吉田（よしだ） 雅之（まさゆき）

痛みのない生活をめざしましょう

健康寿命も伸ばしましょう！

当院は古川橋交差点から四ノ橋に向かう明治通り沿いにあります。一般整形外科診療を行っていますので、頚の痛み、肩こり、腰痛、膝痛などやシビレ、骨粗鬆症、外傷などを専門的に診療しています。患者さんからの訴えや診察などにより的確に診断し、治療と生活の指導に力を入れています。肩こり腰痛はご高齢の方に多い印象ですが、特に最近はコロナ禍においてテレワークやパソコン・スマホで座位の姿勢が長くなる、運動不足になるなどの影響で、比較的若い人でも増加しているようです。軽い痛みだからと放置せず、症状があれば気軽にご相談いただきたいと思います。また症状が強かったり病状が進行していたりして、入院や手術が必要な場合は病院と連携を取り迅速に対応します。東京高輪病院は先生方の対応が適切で頼りになる連携病院です。当院からも多くの患者さんがお世話になっており、大変感謝しています。吉田整形外科はこれからも地域の皆様の運動器（身体を動かす関節・筋肉・骨などの総称）を守り、健康寿命を延ばすよう努力してまいります。

東京都港区南麻布2-14-19 オキノビル1F　TEL.03-3441-1178
https://yoshida-orthopedic.com/